

## 【川本町】 校務DX計画

### 1. 川本町の校務DXの取り組み

川本町は、学校におけるFAXでのやり取りや押印の原則廃止を促すとともに、MicrosoftTeamsを活用した児童生徒との連絡、教職員間の情報共有、保護者連絡用ツールを活用した出欠連絡や保護者への情報提供など校務の効率化を進めてきた。

また、教職員の校務の効率化を図るため、校務支援システムの導入に向けて、浜田教育事務所管内の3市3町（浜田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町）による共同調達により統合型校務支援システムを令和6年1月に導入し、同年4月から運用を行っている。本システムでは、3市3町における児童生徒や教職員のデータ、子どもたちの支援や指導の記録などをプライベートクラウドで安全に管理し、統合的な利用が可能となり作成する帳票を共有化することで校務の標準化・改善が図れている。

これにより、教職員の業務負担の軽減及び児童生徒に向き合う時間を確保することで教育の質の向上を図ることが可能となった。

今後の課題としては、操作研修の実施やヘルプデスクの活用を促進しながら、教職員がシステムの各種機能をフルに活用できる環境を構築していく必要がある。

### 2. 次世代校務デジタル化への課題

川本町は、令和6年度に3市3町による統合型校務支援システムの運用を開始したが、更なる効率化を図るため、県が主導する校務支援システムの共同調達に向けて検討を進めていく。